

令和5年度事業報告

I 運動推進事業

1 海洋・海事思想の普及

(1) 美ら海体験教室事業

一般財団法人近藤記念海事財団との共催により、7月15日(土)16日(日)に沖縄県宜野湾市において約100名の子供が参加し、「第16回美ら海体験教室」を開催した。

子供達が「海洋生物の観察、珊瑚の観察・移植体験」等を行うことで、環境について学ぶとともに、カヌー、SUPなどのマリンスポーツを体験した。

(2) 我ら海の子展事業

一般財団法人サークルクラブ協会との共催により、船、海や船で働く人、海の環境保全などをテーマにした絵画コンクール「第51回我ら海の子展」を実施した。

8月18日(金)に4年ぶりとなる授賞式を開催し、国土交通大臣賞をはじめ日本海洋少年団連盟会長賞等を授与した。

作品は銀座ギャラリー、国土交通省、アクアマリンふくしま、琴平海洋博物館、神戸海洋博物館、アクアワールド茨城県大洗水族館、にて展示を行った。

(3) 褒状山縣賞授与事業

一般財団法人山縣記念財団の協力により、褒状山縣賞授与式を3月22日(金)に開催し、7名の優秀な卒団者に表彰状及び徽章を会長から授与した。

表彰式後の海事研修は横浜の海上保安資料館横浜館の見学を行った。

2 海洋少年団運動の広報

(1) 7月17日(月)に開催された「海の日プロジェクトIN汐留」において東京地区の複数の団が共同でブースを出展し、活動をPRするとともに、手旗信号等を披露した。各種行事に併せ同様の活動を各地で実施した。

(2) 機関紙「海っ子」を5回発行した。

(3) ホームページ、Facebookにより情報発信を行った。

(4) 内航海運に従事する船を取り上げた「内航海運カレンダー」を作製・配布し、団員の海事分野への興味の醸成、活動の活性化につなげるとともに、PRにも活用した。

3 海洋少年団運動の拡充／推進／強化・活性化

(1) 運動の拡充

イ 日本海洋少年団連盟団会員の名簿管理を行い、正確な団会員の現状把握に努めた。会員証329枚を発行するとともに新入団員221名に助成を行った。

ロ 海洋活動器材等の整備を進めた。

(イ) カヌー・SUP

舞鶴、目黒区各団

(ロ) カッター修繕等

南勢、小浜、八戸、大阪みなと各団

ハ 損害賠償責任保険に加入した。

(2) 運動の推進

イ 地区連盟の活動助成

北海道、東北、関東、東京、中部、近畿、中国、九州北部の、8地区連盟に助成した。

ロ 指導者資格審査委員会を開催し、指導者31名を承認・登録した。

(3) 運動の強化・活性化

イ 日本連盟主催による合宿研修

3月22日(金)から2泊3日の日程で、三ヶ日青年の家において、高校2年生及び3年生の13名が参加した合宿研修を実施し、準指導者候補を確保するとともに、参加者の横のネットワーク構築を促し活性化につなげる等、運動の強化・活性化を図った。

ロ 日本連盟主催による上級指導者養成研修

12月2月(土)、3日(日)東京において、北は八戸団、南は石垣団から12名の指導者が参加し実施した。

ハ 地区連盟主催による指導者養成研修

北海道、東京、中国、九州北部の4地区連盟が指導者養成研修を実施した。

ニ 連盟表彰

5名の指導者に永年功労表彰を行うとともに、22名の指導者、準指導者及び団員に褒状を授与した。

ホ 活動活性化のためのチャレンジ事業に別紙一覧表のとおり助成した。

(4) 新団の結成

「鹿児島海洋少年団」は、長く団としての資格・要件を満たさない状況が続いたため、昨年11月に廃団の手続きを取り、新たに「薩摩海洋少年団」の設立が3月15日令和5年度第2回理事会において承認された。

(5) 関係団体との連携

商船系国立高専を初め海事教育に携わる機関等の支援を受け、練習船の体験乗船など子供たちに船に親しむ機会を与えることで、海洋に関係する仕事への興味・関心の醸成を図った。

4 海洋環境教育・地域貢献の推進

(1) 環境教育事業

沖縄県の宜野湾はごろも団が開催した「美ら海体験教室」初め、全国の海洋少年団が定期的に海浜清掃等を行い、自然を大切にする心やエコの精神などの涵養を図った。

(2) 青い羽根募金活動

公益社団法人日本水難救済会の実施する「青い羽根」募金運動に協力した。

II 全国大会事業

- 1 従来から課題であった「全国大会の在り方」について大会役員会等で検討した結果を踏まえ、令和6年度は日本連盟主催で、8月3日(土)に東京において、全国大会「式典の部」を、令和7年度に「競技の部」を、7月から10月にかけて全国各地区にて分散して開催することとした。
- 2 日本連盟において「式典の部」の開催準備を行うとともに、「競技の部」について専門委員会を設置し、競技要綱・表彰基準について検討した。

III 国際交流事業

1 国際海洋少年団協会(ISCA)年次総会

今年度の国際海洋少年団協会(ISCA)年次総会は10月9日(月)から南アフリカケープタウンで開催され、橋川国際委員長他1名を派遣した。

2 国際委員会の開催

令和6年1月27日(土)国際委員会を開催した。

3 海洋少年団員の海外派遣

招聘のあった2か国に団員及び指導者を派遣した。

韓国：7月30日(日)から8月6日(日)の間 団員2名、指導者1名

香港：8月13日(日)から8月20日(日)の間 団員3名 指導者1名

IV 需品事業

制服、制帽及び徽章類を作製して販売した。新たにラバーキーホルダーなど、キャラクターグッズを作製し、販売を開始した。

2023年度チャレンジ事業一覧表

団	事業概要	金額(円)	目的等
杉並海洋少年団	合宿(霞ヶ浦) 地元海洋少年団と合同訓練を実施	52,069	交流、活性化
佐世保海洋少年団	活動の紹介・説明	122,315	活動PR
	親子カヌー体験会		体験会、PR、団員募集
	親子段ボールピザ窯体験会		
佐伯海洋少年団	カヌー体験、活動パネル展	29,309	体験会、PR、団員募集
石垣海洋少年団	操船実習、海洋少年団活動を通じ 広報、交流、海浜清掃	150,000	遠征航海訓練、PR、交流
合計		353,693	